

東北海区沿岸水温予報(2014年)

海域	経過 (9~11月)	現況(11月下旬~ 12月上旬)	見通し (12~2月)	見通しの背景	特異現象 (漁況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	●定置水温 「やや低い」から「やや高い」で推移。 ●定線観測 日本海沖合定線観測(10/30-10/31)では対馬暖流の0m層, 50m層, 100m層共に平年並み。	●定置水温 「やや低い」から「やや高い」で推移。 ●定線観測 日本海沿岸定線観測(12/8-12/9)では対馬暖流の0m層, 50m層, 100m層共に平年並み。 太平洋定線観測(12/4-12/8)では津軽暖流の0m層, 50m層, 100m層共に平年並み。	平年並からやや高いと予測	12月の日本海及び太平洋の定線観測で, 対馬暖流の勢力がかなり強め, 津軽暖流の張り出しがはなはだ西偏であったことから, しばらく津軽暖流系の影響が太平洋に残るものと予想。	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【9月】 表面水温 距岸10海里内は, トドヶ崎沖が「やや高い」, 尾崎沖が「やや低い」のほかに「平年並み」。 距岸10海里以東は, 県南部沖40~50海里が「やや高い」のほかに概ね「平年並み」。 100m深水温 距岸10海里内は, 県北部沖が「やや低い」~「低い」, 県中部沖が「やや高い」, 県南部沖が「やや高い」。 距岸10海里以東は, 県北部沖および県中部沖30海里付近が「やや低い」, 県中部~県南部沖50海里付近が「やや高い」。 【10月】 表面水温 距岸10海里内は概ね「平年並み」。 距岸10海里以東は, 県中部沖40~50海里が「やや低い」のほかに「平年並み」。 100m深水温 距岸10海里内は概ね「平年並み」。 距岸10海里以東は, 県中部~県南部50海里付近が「やや高い」~「高い」, 県北部30~50海里から県南部30~40海里にかけて「やや低い」。 【11月】 表面水温 距岸10海里以内は, 概ね「やや高い」~「高い」。 距岸10海里以東は, 県中部~県南部沖40~50海里が「やや高い」のほかに概ね「平年並み」。 100m深水温: 距岸10海里以内は概ね「平年並み」。 距岸10海里以東は, 本県沖20~40海里が「やや低い」~「低い」。	表面水温 距岸10海里以内は, 全域「平年並み」。 距岸10海里以東は, 本県沖30~50海里が「平年並み」~「やや高い」。 100m深水温: 距岸10海里以内は, 県北部から県中部の10海里付近が「やや高い」のほかに「平年並み」。 距岸10海里以東は, 県北部沖10~40海里および県中部~県南部の20海里付近が「やや低い」。県中部40~50海里が「やや高い」。	1月の100m深は全域「平年並」と予測。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した統計的予測モデルによる。	サンマ(棒受網)好調。 スルメイカ, マイワシ, ヤリイカ(定置網)好調。 ゴマサバ(定置網)不漁。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<9月> 表面水温は前月から降温し20~24℃台となった。100m深水温は38° 30' N以北の142° 30' E付近に5℃台の冷水域が見られた。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は, 20~24℃台となった。仙台湾では平年より概ね1~2℃低く, 38° Nの142° E~142° 30' E付近で平年より1℃高めとなった。 【100m深水温】 100m深水温は5~12℃台となっており, 38° 30' N以北の142° 30' E付近に5℃台の冷水域が見られた。 <10月> 本県の沿岸から沖合の表面水温は平年並み, 100m深水温は低めとなった。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は, 19~20℃台となっており, 平年並みとなった。 【100m深水温】 100m深水温は4~14℃台となっており, 平年よりも低めとなった。また38° Nの142° 30' E付近に4℃台の冷水域が見られた。 <11月> 本県の沿岸から沖合海域の水温は表面, 100m層とも平年より低め, 特に142° 30' E付近は親潮系冷水の波及で平年より2~6℃低めとなった。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は, 13~17℃台となっており, 概ね平年より低めとなった。 【100m深水温】 100m深水温は4~16℃台となっており, 特に142° 30' E付近に4~6℃台の親潮系冷水が波及し平年より2~6℃低めとなった。	<12月> 本県の沿岸から沖合海域の水温は表面, 100m層とも平年より低め, 特に100m層の38° 30' N, 142° 10' E付近に7℃台の冷水が見られている。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は, 12~14℃台となっており, 平年より低めとなっている。 【100m深水温】 100m深水温は7~13℃台となっており, 特に38° 30' N, 142° 30' E付近に7℃台の冷水が見られ, 平年より5℃も低めとなっている。	<1月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)の142° 30' E以東及び38°ライン(亘理沖)の142° 50' E以東はやや低めで推移する。 それ以外は平年並みで推移する。 <2月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)の142° 30' E以東及び38°ライン(亘理沖)の142° 50' E以東はやや低めで推移する。 それ以外は平年並みで推移する。	水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデル及び類似年モデルによる予測	サンマ, マイワシ(当歳魚), ヤリイカ好調

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)</p>	<p>9月には塩屋埼定線のみを観測となったが、表層では「やや低め」、100m深では「やや高め」であった。10月は欠測となったので詳細な状況は不明である。11月は表層で「やや高め」、100m深で「高め」であった。</p>	<p>表層において11月下旬は、黒潮系暖水の波及が本県沿岸全体に及び、12月上旬はいわき～双葉海域に及んでいた。小名浜の定地水温は平年差+0.6～+2.9℃とおおむね高めで推移した。一方、松川浦は-1.0～+1.0℃であり、おおむね平年並みで推移した。</p>	<p>「平年並」～「やや高め」で推移する。</p>	<p>気象庁の1カ月予報(2014/12/11～2015/1/10)の中で親潮について、先端は「41°N, 148°E 付近」、面積は平年より小さい状態が続くと予想されており、本県沿岸への波及は弱いと見込まれる。また、FRA-ROMSによる2月上旬までの解析結果によると、黒潮流軸は1月中旬まで36°N以南であり、1月下旬から2月上旬はやや北偏するものの、沿岸域への暖水波及は弱いことが示唆されている。一方、本県沿岸への親潮系冷水の波及は期間を通じて弱いことが見込まれている。これらのことから、本県沿岸への黒潮系暖水の顕著な波及はないと見込まれるものの、親潮系冷水の波及はほぼ見込まないことから、「平年並み」～「やや高め」と予測した。</p>	<p>11月の塩屋埼定線の一部(S5～S7)で20.7～21.3℃(平年差+7.2～+8.4℃)と極めて高い値を、鶴ノ尾埼定線の一部(U10)では7.9℃(同-8.3℃)と極めて低い値を観測した。</p>
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>9月上旬は、沿岸域で前月より昇温したが、平年と比較すると全域で「平年並み～やや低め」であった。沿岸域で引き続き強い逆潮が観測され、会瀬沖合ではやや強い逆潮(西向き)が観測された。10月上旬は、前月との比較では、表層では降温傾向、下層では昇温傾向がみられた。平年と比較すると、会瀬沖合で「平年よりやや高め」となったが、その他の海域・層では低め傾向であった。会瀬・大洗沖合でやや強い逆潮が観測された。11月上旬は、強い暖水波及の影響により、大洗沖を除く茨城県沖全域の表層～下層で「平年より高め～きわめて高め」の水温環境となった。大洗沖では沿岸域で「平年並み」、沖合域で「平年よりやや低め～低め」であった。前月までとは一転し、全域で強い真潮が観測された(0.5～1.5ノット)。</p>	<p>12月上旬は、11月の暖水波及による影響が残存し、沿岸域の100m深が平年よりやや低めであったことを除き、全層・全域で「平年並み～高め」であった。会瀬～大洗沖合で、黒潮の非常に強い潮流が観測された。</p>	<p>「平年並～やや高め」で推移する。</p>	<p>①気象庁の1か月予報(12/10発表)によると、親潮第一分枝の先端は北緯41度、東経148度に位置すると予測されている。また、親潮の面積は平年より小さいとの見通しである。 ②気象庁による12～2月の3か月季節予報では、茨城県の平均気温は平年より高い確率が50%(平年より低い:20%, 平年並み:30%)となっていることから、気温の影響があると考えられる。 ③12月海洋観測100m深水温を用いた自己回帰モデルによる解析では、2015年1月～3月の各月とも「平年並み～やや高め」となる予測結果であった。 ④FRA-ROMSによると、黒潮は接岸傾向で流去し、1月下旬にはC型に移行する予測となっている。C型に変化するにより、本県沿岸域に暖水が波及する可能性がある。</p>	<p>①9月以降、底曳網に例年になくガザミの入網がみられている。 ②10月以降、メジカツオの曳釣においてハガツオが多く漁獲されている。 ③11月、大津の船曳網でシュモクザメの混獲があった。また、大洗沖で操業を行った底曳網や、会瀬の定置網でもシュモクザメが確認されている。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い(7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い(20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並(40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い(20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い(7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～